

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

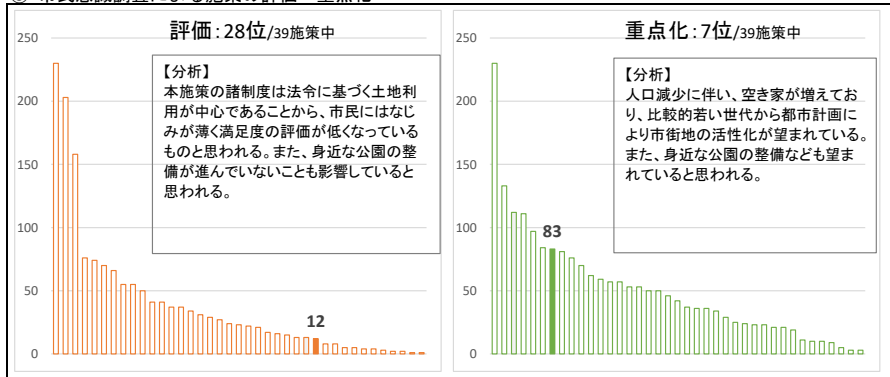
【令和2年度作成】

施策名 (小項目)	秩序ある土地利用と良好な市街地（都市施設）の整備	決算書 P160-165	(款)8 土木費 (項)5 都市計画費 (目)1 都市計画総務費、6 公園費
コード	05-08-30	作成者	都市住宅課長 大森賢二 (tel 64-2225)
この施策の アピール ポイント	まちの健全な発展及び市民の安全・安心と快適な生活環境の確保に資する。		
この施策の 平成31年度の 施政方針	秩序ある土地利用と良好な市街地の整備につきましては、社会情勢の変化に応じた都市計画の見直しとして、まずは伊部・浦伊部地区土地区画整理事業の廃止と再開発を進めるとともに、人口減少に対応した持続可能な都市づくりの推進に向けた立地適正化計画の策定を進めてまいります。		

＜備前市総合計画の内容から記載する＞

① 政策の体系	基本構想（大項目）	生活環境改善「快適・活力」
	基本計画（中項目）	快適な生活が送れるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	市民のため、またこれから備前市に住もうとする人のため、まちの健全で秩序ある発展を促し、安全・安心で健康的・文化的な生活環境を創出する。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の 問題点を抽出)	本市は、まとまった平地が乏しく可住地帯が細分されているため、これら限りある土地の計画的・総合的な活用を図るとともに、自然環境の保全に努めながら地域の特性を生かした土地利用を進めていく必要があります。 また、都市計画道路、駐車場などの交通施設や公園・緑地の整備も必要ですが、なかなか進んでいない状況にあり、今後の方向性を再検討していく必要があります。また、休止している土地区画整理事業については、社会情勢の変化を踏まえ廃止し、新たな土地の有効活用策を検討していく必要があります。 これらのことから、無秩序な開発を防止し、適切な土地利用計画を進めるとともに、市民ニーズに応えるため、身近で楽しめる街並みや公園整備等も行うことが重要と考えます。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部 分から、実施する施 策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性を生かした土地利用 土地区画整理事業の見直し 都市計画道路の計画精査と整備促進 駐車場の整備 公園の適切な維持管理 身近な公園緑地の整備 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



⑥ 施策成果指標（基本目標・基本施策・施策意図から設定）

施策に対する成果指標名	単 位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H29	H30	R1			R2	R4
成果指標 違反件数（開発・公法・ 国土法）	目標	0	0	0	-	-	R2	0
	実績	0	0	0			R4	0
	達成率%	-	-	-			-	-
ベンチマーク	目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	達成率%	-	-	-	-	-	-	-
参考指標① 市民1人あたりの都市公園 面積	目標	8	8	8	-	-	R2	8
	実績	8.2	8.3	8.5			R4	8
	達成率%	-	-	-			-	-
ベンチマーク	目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	達成率%	-	-	-	-	-	-	-
参考指標②	目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	達成率%	-	-	-	-	-	-	-
ベンチマーク	目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	達成率%	-	-	-	-	-	-	-
参考指標③	目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	達成率%	-	-	-	-	-	-	-
ベンチマーク	目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-	-	-
	達成率%	-	-	-	-	-	-	-

⑦ 目標達成に必要な新規事業（施策構成事務事業以外の事業）及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県	都市計画関係所管部局との連携	情報の共有化により事前指導等適切な対応が可能になる。
農林水産課	農地法・森林法等との許認可事務との連携	情報の共有化により事前指導等適切な対応が可能になる。

⑧ 施策の評価

項 目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い					
		判 断 理 由 (なぜ、そのランクと評価したのか)					
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか？	3	市民になじみの薄い施策であり、また短期間で成果が目に見えにくい指標の設定自体が困難であり、他に適切な指標がないことから市民意識調査の結果を掲げている。					
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か？	3	法定事務であることから現状では妥当であるが、情勢の変化に応じた制度の見直しや新しいルールづくりの検討が必要					
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中 長期の達成見込みは？	3	無秩序な開発等の行為を防止し、まちの景観や自然を保全するという点では一定の成果が上がっているが、受動的な性格が強いことから短期間での向上は難易度が高い。					
進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況)	土地利用については、伊部・浦伊部土地区画整理事業の廃止をしており、区画整理廃止後の新しいまちづくりを進めております。また、使用禁止となっていた浜山運動公園野球場スタンド等の改修工事を行い、施設の利便性の向上と利用者の安全の確保を図りました。立地適正化計画の策定については、令和3年までの3年間で作成いたします。						
翌年度(R2年度)の取組目標	立地適正化計画の策定は、令和元年度から令和3年度までの予定で人口減少や少子高齢化の進行が見込まれる中、安心・安全で快適な暮らしを確保するため、医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、公共交通によりこれらの施設にアクセスできるなどコンパクトシティの実現を目指します。						
二次評価者コメント	<table border="1"> <tr> <td>役職</td> <td>産業部長</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>岩崎和久</td> </tr> </table>	役職	産業部長	氏名	岩崎和久	伊部・浦伊部土地区画整理事業の廃止が整い、新しい土地利用に向けて計画を進めてください。立地適正化計画及び都市計画マスタープランについては、総合計画や総合戦略との整合も必要ですが、コンパクトシティの実現のために必要かつ最適な方法を見出してください。また、夢のある計画が理想ですが、将来あるべき姿と持続可能な社会の実現とのマッチングをお願いします。都市公園整備については、新総合計画にも盛り込む必要があると思います。しっかりと検討してください。	基本施策への 貢献度
役職	産業部長						
氏名	岩崎和久						
			4 やや高い				